

みんなで作ろう

緑のカーテン 育て方マニュアル

もくじ

- | | | | | | |
|----------------------------|-------|----|----------------------------|-------|----|
| ・緑のカーテンとは | | P1 | ・緑のカーテンの育て方 | | P6 |
| ・緑のカーテンの ^{こうか} 効果 | | P1 | ・オススメの植物 | | P7 |
| ・ ^{じゅんび} 準備するもの | | P2 | ・ ^{さいばい} 栽培スケジュール | | P8 |
| ・緑のカーテンのつくり方 | .. | P3 | ・Q&A | | P9 |



横浜みどりアップ計画

横浜は大都市だけど、緑^{ゆた}豊かな環境^{かんきょう}が残されています。横浜の緑を子どもたちの世代^{せだい}に引きついでいきたいという横浜市民の思いが形になった「横浜みどりアップ計画」。市民、会社やお店、市役所^{しやく}などが協力して、取り組んでいるよ。



緑のカーテンとは

夏の強い日ざしのときに木陰に入ると涼しく感じたことはありませんか？
 日陰よりも木陰のほうが涼しく感じるのは、植物の葉から水分が出ることで、
 周りの温度が下がっているからなのです。

家の窓際でする性の植物をカーテンのように育てて、太陽の光を和らげる
 ことで、室温が上がるのを抑えたり、植物の間を通り抜ける風が冷やされることで、
 家の中を快適にすることができます。

緑のカーテンの効果



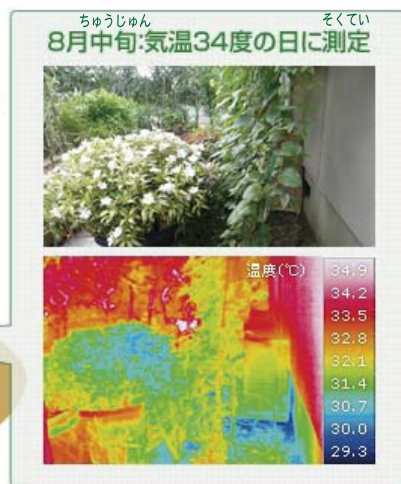
直射日光をさえぎり、
 夏の強い日ざしを
 和らげます。



気孔から水分が出る
 ことで、周りの温度を
 下げます。
 気孔・・・葉が呼吸する穴



遮光効果や冷却効果で、
 エアコンの使用を抑える
 ことができるため、節電や
 省エネ効果もあります。



じゅんぴ
準備するもの



植物の種 ^{たね} または



植物の苗 ^{なえ}



プランター



ネット

こてい
固定しやすいもので
だいじょうぶ
大丈夫です



支柱や竹、カラーポール ^{しちゆう}



はりがね
針金

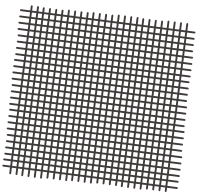


あさ
麻ひも

ひも類



けっそく
結束バンド



はちぞこ
鉢底ネット



ばいようど
培養土



じょうろ



スコップ

あったら良いもの



日ざしよけのぼうし



すべり止め
こうか
効果

ようてふくろ
アウトドア用手袋

緑のカーテンのつくり方

1 プランターに土を入れます

プランターの^{あな}穴の部分に^{はちぞこ}鉢底ネットをしきま^{ひりょう}す。土は、あらかじめ肥料などが入っている^{やさい}野菜用または^{はなよう}花用の^{ばいようど}培養土を使うと^{つか}便利^{べんり}です。

土はプランターの
8分目まで入れます



※^{はちぞこ}鉢底ネットのかわりに^{はちぞこいし}鉢底石を使うと、土が^{なが}流れ出たり、虫が入ってくることを^{ふせ}防げますが、土が^{かわ}わいて水はけがよくなりすぎてしまいます。
^{はちぞこいし}鉢底石を使うときは、いつもよりも水やりの回数を増やしましょう。

ポイント!

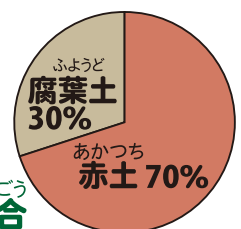
- ・ゴーヤなどの^かウリ科の植物は^{れんさくしょうがい}連作障害が発生するので、毎年^{まいとし}新しい土を使いましょう。
- ・ゴーヤは^{さんせい}酸性の土を^{きら}嫌うので、「^{せっかい}石灰」を土に^ま混ぜて^{ちゅうわ}中和しましょう。

連作障害とは?

同じ^{ばしょ}場所に同じ植物を^{つづ}続けて栽培することで土の^{ようぶん}養分が不足したり、^{びょうげんきん}病原菌や^{びょうがいちゅう}病害虫が発生して^{はっせい}作物の^{さくもつ}生育が^{せいいく}悪くなること。

培養土を自分で配合する場合

培養土とは、植物を栽培するための土のことです。
栽培する植物に合わせて^{きほん}基本となる土などを^ま混ぜ、そのまま^{つか}使うことができます。育てる目的に合わせて^{はいごう}配合を変えることができます。

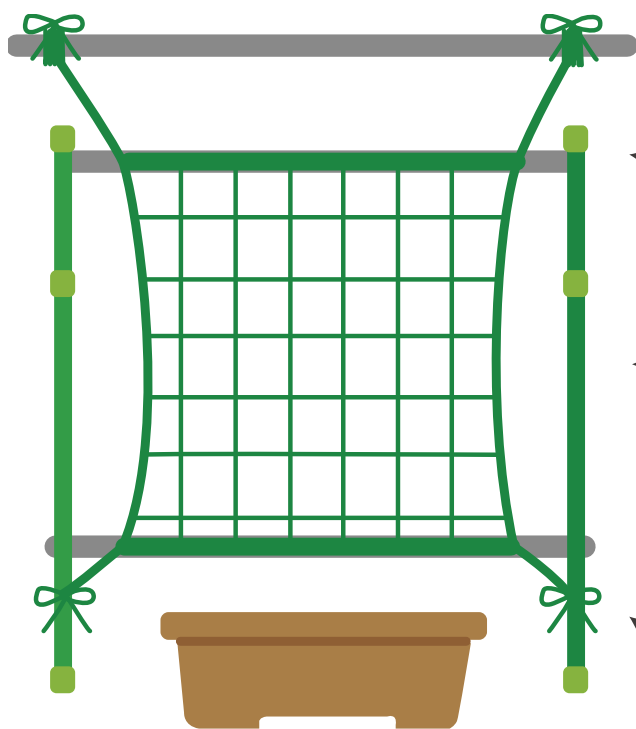


基本の配合

2 ネットの準備をしよう

高い場所での作業は、
十分注意してください！

植物のつるが上に伸びるようにネットを張ります。支柱にネットを結束バンドや針金で結びます。強風などで緑のカーテンが倒れないようしっかり固定してください。支柱の位置は固定できる場所にしてください。



上の階などのバルコニーの手すりなどと固定します

支柱などの棒を通すと、ネットをピンと張れます

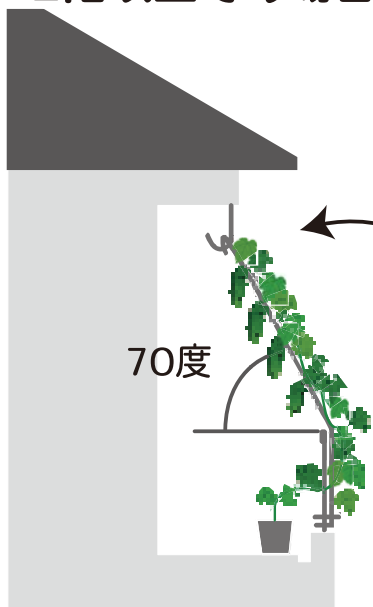
固定する場所がないときは、支柱などを使いましょう。
(竹、カラーポールなどでも大丈夫です)

動かないように固定します

かくにんよく確認しましょう！

- ・緑のカーテンをする場所は、緊急時などの避難路ではないですか？
- ・台風の時など、強い風で倒れたり、飛ばされたりしないようにしましょう。
- ・作業するときや設置後も安全に気をつけましょう。

2階以上での場合



物干しざお、横パイプなどに固定します。
ない場合は雨どい用の金具なども利用できます。
(強度を確認！)

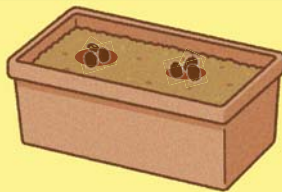
ネットを斜め(約70度)にして張ることで、実がネットの内側に垂れ下がります

3 たね種まき・なえう 苗植え

～種から育てるとき～



芽が出やすいように、硬い種は爪切りなどで種の先を切り、一晩水につけて、発芽処理をします。



土を入れたプランターに直径4~5cm、深さ1cmほどの穴をつくり2~3粒まき、土を1cmほどかぶせ手で軽くおさえます。

2~3週間で芽が出ます



芽が出て、本葉が1~2枚になったら、間引きして1本にします。

間引き作業は、指やピンセットでOK!

ポットの場合、1ポットにつき2~3粒まき、軽く指でおさえます。本葉が2~3枚出たらプランターに植えかえてください。



ポイント!

- ・ゴーヤの種は硬いので、水を含ませるために先をカットします。
- ・水に浮かぶ種は、芽が出にくいです。

～苗から育てるとき～

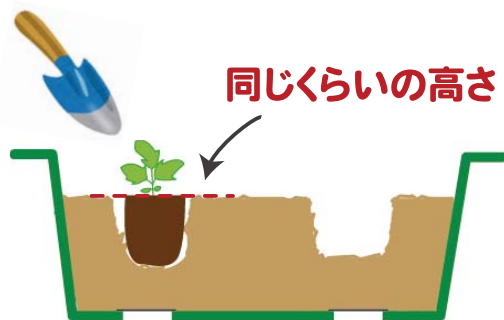


苗をビニールポットからはずします。

ぐるぐる



根がぐるぐるとたくさんまかれていたら少しほぐします。



同じくらいの高さ

土を入れたプランターにポットサイズの穴をつかって植えます。ひとつのプランターに2ポット(30~40cmほどの間をあけて)植えてください。



ポイント!

- ・元気な苗は、本葉が4~5枚くらいしっかり広がっていて、葉や茎は濃い緑色です。
- ・植えつけが終わったら水やりです。底から水が出るまであげてください。

緑のカーテンの育て方

日常のお世話の仕方をご紹介します♪

水やり

午前中の気温が低い時間帯に水をあげます。
太陽の光で光合成をするために、水が必要となります。
特に暑さがきびしいときは、朝と夕方の2回水やりをします。



追肥

植物は根から、土の養分を吸収して成長します。その養分はだんだんと少なくなるので、月に1、2回ほど追肥作業をします。



肥料が多すぎると…
・濃い緑色になる
・つるが伸びすぎる
肥料が少ないと…
・葉が黄色くなる

苗1つに
大さじ1
(20g~30g)

追肥とは

植物の成長に応じて必要な養分を追加して与えること。
水に混ぜて水やりのときに与える液肥や、茎の根元に置く固形肥などがあります。

倍率を守ること!



えきひ液肥



こけいひ固形肥

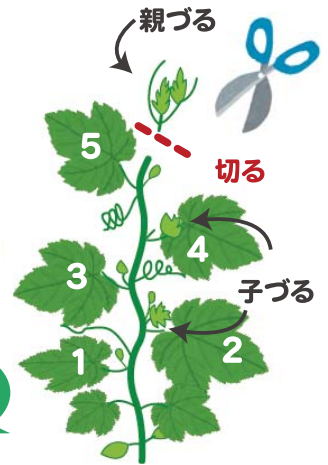
誘引・摘芯

茎が伸びてきたら、つるを伸ばしたい方向にネットに絡ませるように誘引します。
麻ひもなどで結んでもOK!
大きめの本葉が5枚出たら、親づる(先端)をハサミで切ります。

誘引



摘芯



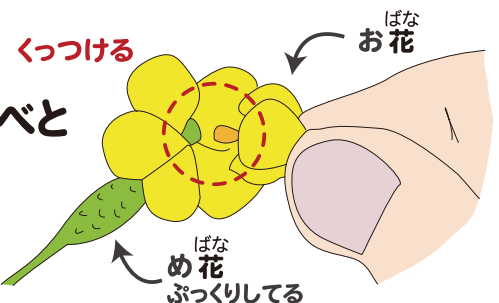
摘芯とは

茎の先端部分を摘むことで、茎や葉を増やす効果を上げることができます。
植物によって摘芯が必要なものと不必要なものがあります。

※特に必ず摘芯が必要なもの : ゴーヤ、ヒョウタンなど

人工授粉

確実に実をつけたいときは、指や筆を使ってめしべとおしべをくっつけて授粉させる作業をします。
その日に咲いた、め花とお花で、午前10時までに授粉させるとより良いです。



オススメの植物

かんしょう 鑑賞したい



アサガオ (西洋アサガオ)

アサガオは、大きさや花の色などたくさんの種類しゅるいがあります。
西洋アサガオは、夏の高温こうおんと日ざしをあびて、ぐんぐん育ちます。葉は丸く、さわやかな空色の花が咲きます。



フウセンカズラ

小さい白い花さが咲いた後に、直径3cmちよつけいくらいの大さの実がたくさんつきます。
種たねの模様もようはハートマークのように見えます。



おいしく食べたい



ゴーヤ

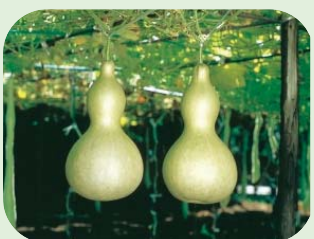
ゴーヤの種たねはとてもかたいので、種まきのときには、発芽はつが処理しよりが必要ひつようです。気温が20度以上の日たねが何日か続つくころに種まきをするとよく育ちます。

しゅうかく 収穫を楽しみたい



ヘチマ

緑のカーテンの中でも、特によく根をはります。
ヘチマを育てるときは、ひとつのプランターにひとつの苗なえを植うえつけると、より元気に育ちます。



ヒョウタン

夕方ゆうがたに花さが咲く夕顔ゆうがおの仲間なかまなので、ヒョウタンも夕方ゆうがたに花さが咲ききます。
実を水につけてくさらせることで、置物おきものにもなります。

さいばい 栽培スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
土の準備 <small>(※1)</small>	●————●						
種まき		●————●					
ネットの設置		●————●					
苗の植付け		●————●					
水やり		●————●					
誘引・摘芯			●————●				
追肥			●————●				
収穫				●————●			
片づけ <small>(※2)</small>							●————●

スケジュールの目安なので、地域やその年の気候で、成長や収穫期が変わることがあります。

種たねの収穫しゅうかくのタイミング

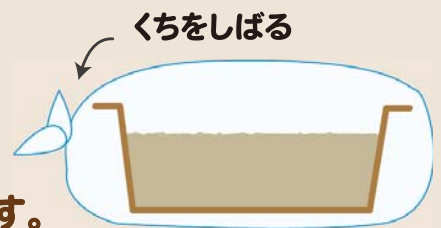
アサガオやフウセンカズラは、花が枯れた後に実ができます。種たねの入った袋ふくろがカラカラにかわいて、ベージュや茶色になったときです。

実しゅうかくの収穫しゅうかくのタイミング

ゴーヤは、開花かいがから15~20日くらい。実のイボイボがふくらんだときです。
 ヒョウタンは、開花かいがから30~45日くらい。実を爪先ではじいたときに高い音がしたときです。
 ヘチマは、開花かいがから50日くらい。実を持ってみて軽く感かんじたときです。

※1 土じゆんぴの準備

植物が元気に育つように、土の入ったプランターをビニールでおおい、あたためるとより生育せいいくがよくなります。ゴミ袋などの大きいビニール袋を使うとかんたんにできます。1~2週間ほどあたためると効果的です。



※2 緑かたのカーテンの片づけ

9月下旬ころ、夏が終わり日中の日ざしが弱くなってきたら、緑のカーテンを片づけます。後片づけをして、翌年のために種を取っておきましょう。

伸びたつるはネットから外して、きれいにたたむと来年の緑のカーテンをつくる時に楽に広げられます。また、外したつるは、乾かして細かくきざむと翌年も土に混ぜて使えます。

Q 1 .葉っぱに虫がいるけど大丈夫ですか



A. 植物には虫が近寄ってきます。
 受粉を手伝ったり、土をたがやしてくれる虫もいますが、
 葉などを食べてしまうものや病気を運んでくる虫もいる
 ので、毎日よく観察しましょう。葉の裏などに虫を見つけた
 場合は、取りのぞいてください。

Q 2 .葉の色が黄色くなったり、変な模様が出ています



A. 植物も病気になることがあります。
 葉や小さいわき芽も黄色くなっている場合は、根腐れの
 可能性があります。しばらくは水やりを控えて、土の表面
 がかわいたら水やりをしてください。
 植物が元気なときは、土がかわいたらたっぷりあげてく
 ださい。



葉に白い模様がついていたら、うどんこ病です。
 アブラムシやダニが発生してしまうので、見つけたとき
 は葉をとってください。

Q 3 .葉がなかなかつきません

A. 日照、肥料や土を十分な量あたえてください。葉が少ないときは、
 め花や小さい実をところどころ摘んで、栄養を葉に行きわたらせてく
 ださい。または、葉を広げるためにつるの先をつまんで子づる、孫づる
 を伸ばしてください。



横浜市都筑区区政推進課企画調整係
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1
TEL. 045-948-2226